

## 和歌山盲学校 令和6年度 第3回学校運営協議会記録

開催日時: 令和7年2月14日(金) 10:00~12:00 和歌山盲学校会議室

出席者: 委員6名、傍聴人(本校職員等)9人

【議題】 今年度の本校の取組と今後の本校の目指す姿について

今年度の本校の取組みについて

○校長、事務局より今年度の取組みについて説明(報告 学校評価シートに基づいて)

・授業づくりの取組み(自立活動における実態把握に関する研修について、年間指導計画、個別の指導計画、単元計画について、理療科における国家試験合格に向けた取組みについて)

・視覚障害教育に係る専門性の維持継承について(教科会での取組みについて、センター的機能について、ICTの活用について)

・外部との連携について(進路に関する連携について、生涯スポーツに関する連携について)

○今年度の取組みについての協議(協議)

・年間指導計画や単元計画などの授業計画は作成だけでなく活用することで、子どもが変わること、子どもの様子がフィードバックできることが大切である。

・福祉や就労の制度は日々改定されている。情報を得ておくとともに必要な機関と連携しておくことが大切である。

・ICT機器は今後社会での必需品となる。

・学校は校内だけでなく、関係する人や機関と連携しながら教育活動を進めていくことが大切である。

今年度の本校の取組みについて

(協議)

・盲学校の生徒が自立していく所を見て驚く。コミュニケーション力や知識を学校で広めてくれ自立に繋がると感じる。生活能力も必要で家でも自分で出来ることをやらしていきたいが福祉用具の制度で戸惑うこともある。大人も子どもにも情報がほしい。

・福祉制度についてはどんどん変わっていているので、当事者の方の発信も積極的に行ってほしい。

・進路だけでなく、学校生活の出来事でも学校、教員が分かったつもりで話を進めていくことがある。本人にとってどうなのか、こどもの、疑問や希望を押さえ込んでいないか、教師は十分気をつけることが大事。

・こどもを一人の人間として認める事から始める。こどもの支援は支援者一人で完結しない。必要な情報を共有するためにも、学校完結ではなく、行政や保護者、関係機関と連携することが大切。チーム学校として運営してほしい。